磐城毎日

社長 大和田與兵衛
發行所 福島縣平市15丁目12番地
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話(平)－二一〇番
定價1ケ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

投稿歡迎

青年連合會武道大會催す
平さくら祭りの行事
武の祭典

平市連合青年會では來る十五日午後一時より櫻花爛慢たる市内松ケ岡公園において武道大會を開催する、大會内容は左の通りである

△團体＝各ブロック三名を以て一組とする（年齢は三十五才未満）參加各組を二組にわけ抽籤によりリーグ戰を行う

△個人―參加人員を以てトーメントを行い準決勝よりリーグ戰を行う

△審判劍道は劍友會、柔道は有段者會

△審判長劍道鈴木忠正、柔道岡田朝五郎

△優勝杯柔道は縣會議長杯

△劍道は劍友會杯（何れも團体）

△優勝メタル柔劍道夫々六名（個人）

參加者には何れも參加賞を進呈する、平市連合青年會としては劃期的な統一的な催しで折から落花粉々たる中に行われる柔劍道大會は往古の奉納試合を思い浮ばせるものがある事であろう

平、石城遺族會主催
合同慰靈祭を執行

一進一退を續ける朝鮮動亂危機をはらむ世界狀勢、そして冷い戰争が行われている今日此頃、平市及石城郡遺族連合會主催になる市、郡合同慰靈祭は櫻花咲きほこる十日午前十時より市内公會堂において擧行、郡市合せて約一萬柱參集せる遺族四千の多きにのぼり廣い公會堂一杯にうづめつくしこゝに平和の祈りをこめたのであつた、父を夫を兄を失つた戰争犧牲者がその尊い代價を平和の爲に支拂つた事を感じ默々と合掌したのであつた、平市遺族會小松茂副會長の挨拶、平市遺族會猪狩庄平會長、石城郡遺族連合會根本貞治會長等の弔辭、遺族代表藤中ヒサさん(平)古内タケヨさん、(内郷)の燒香があり平和の祈慰靈祭は熱い涙と共に終つた

選擧法令の周知
平市で候補者懇談會

平市選擧管理委員會では十一日午後一時より市役所委員會室において市議縣議市長の各候補者の參集を求め各種選擧の法令周知について懇談會を催するなお檢察廳、警察署もオブザバーとして臨席することとなつた

中小炭礦を中心に
東部石炭協會存續に決定

東京の大手筋十八社結成による東部石炭協會の存廢問題については既報の通りであるが本年三月末の會員會議で、今後は中小炭礦を中心とする主義で運營することに決定、職制も現在までの三課二十四名から一課十一名（東京の事務所も含む）に縮少して存續することとなつた、四月下旬の總會において新運營方針の具体案を決定する、現在まで東部石炭協會の主要なる要員であつた常磐、古河好間、大日本勿來の三大炭礦は今後は關知せず唯贊助會員となる模様である

平市で豆腐配給
十一日から三日間

平市役所商工課では昭和二十五年度産大豆による豆腐を配給する事となつた、要項左の通りである

△配給價格一丁(百三十匁)二十圓、數量は希望量、期日は四月十一、十二、十三日、場所は各豆腐店

平保健所 近く母親學級開く
乳幼兒の保育に萬全期す

平保健所では妊産婦の健康を増進し、乳幼兒の保育に萬全を期するため、管内各町村の婦人母親達を對照として、近く母親學級を開設し妊娠、出産、育兒及保健衛生に對する知識を普及徹底せしめる事となつた、日程場所並に具体的内容については近く決定する筈である

平保健所で
美化運動の打合せ

全國春季美化運動は十六日から二十二日まで開催されるが平保健所では美化運動期間中の行事打合せ會を十三日午前十時から田町いわき民報ホールで市町村衛生主任、各事業所係員の參集を求め方針衛生思想の昂揚整掃事業の運營化、ねずみ害虫の驅除の徹底、傳染病の豫防等について協議する

地方事務所で
選擧の打合せ

石城地方事務所では十八日地方事務所において各町村の選擧關係者を集め選擧事務打合會を開く

平の列車取締り
白米二俵押收す

平鐵道公安室では九日午後四時三十六分平着常磐線上り二〇二列車を急襲無主物白米五個二俵を押收した

江名中ノ作の地滑り
住宅一戸を破壊す

石城郡江名町中ノ作字川岸雜貨商吉田未吉(七〇)さん方裏山で突然七日午後六時頃降雨のため地滑りを起し高さ二間卅米立方約廿坪の居宅を破壊した、又逃げ遅れた未吉さんは手に全治二週間の擦過傷を負つた損害は約三十萬圓と見られている

地方事務所で
狩獵負狀返還を要望

石城地方事務所では狩獵免許證所有者に對し十一月から二月までの狩獵期間もすぎ免許證返還の三月三十一日までの期日もきれたので早急に返還する様要望しているが若しそのまゝ保持すれば違反者として處罰されるから特に注意をうながしている

田邊製作所に賊

九日夜八時から十日五時頃までの間に市内五色町六田邊製作所器具置場の戸をふみ破つて賊が侵入室内を物色した形跡はあるが何も盜られなかつた

下荒川の荷馬車
洋品店をこわす

九日午後二時頃平市下荒川字小作荷馬車業、山田善臣(四二)さんが杉丸太十本を滿載して平市三丁目なかや洋服店前路上で前方から地區警察署サイドカーが疾走して來たのに馬が驚き後退したゝめ同店舗のウインドガラス一枚、自轉車、人臺等約五千圓相當を破損した

泥醉の半島人
平南町で暴行

九日夜午後八時頃廣野町上下迫字七曲無職成本龍太郎こと趙高來は南町木村外科醫院前路上で泥醉の上暴れて居たのを警官に阻止されたが、きかずに暴れ警官に暴行を加えたので公務執行妨害で市署に捕つた

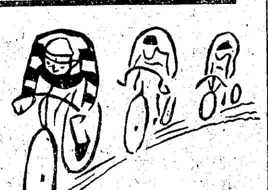
十日晩は西寄りの風晴のよい天氣でしよう
十一日は北後東寄りの風晴から次第に薄曇がひろがつてまいりましよう
十二日は南東の風曇から次第に小雨模様と成ましよう海上は今晩は風波がなく穩かでしよう
強風特報は十日午前六時解除されました

息博文儀心臓麻痺にて四月十日午前五時半自宅にて死亡致しました 生前の御交誼を深謝し茲に御知らせ致します
追つて十二日午後二時自宅に於て告別式相營みます

昭和二十六年四月十日
平市大町四五
父 三浦忠造
兄 三浦博忠
親戚總代 菊地雄三
三浦電氣製作所工員一同

平競輪 4月

開催 14 15 16 17
市營第3回



主催 平市
福島縣ダービー
10時半發賣開始
小雨決行

内科 小兒科
和田醫院
和田浩美
平市白銀町一〇
電話一一八七番

寿 大サービス
開店一周年記念
福引大賣出し
期日 4月10日～4月20日まで
夜間營業 午後7時30分迄
櫻まつり期間中
空くじなしの總當り
平驛前
寿 百貨店 電656

小名濱町議候補の横顔
藤社大一君 (2)

第二番目の届出てが、藤社大一君である、藤社君は先代藤社君の遺業漁業から轉向して海産物商と變つて居る、元來君は四倉町出身で商家の出てあるだけに雜行路の漁業に終止符をつけて轉身した一事でも、其の見透うしが非常に利く事に驚膽する程である、殊に先代の播きつけた地盤は生やさしくない、素と〱竹町町內は町議を選出せしめた事がない、其の地盤に先代藤社君が名乘りを上げて然かも二期務め拔いて居る遺産は決して尠少でない、其處に小野作太郎氏が、町內年長から區長を引續き二期竹町を地盤として選出されて居る、其の点から云うて藤社君に不利が伴うようでもあるが、竹町區は戶數三百戶、有權者四百五十もある二名の出馬は落々である處に先代の遺產ぎ物を言うて藤社君を樂々と町議として町會に送り出す事が出來るそれ許りでなく藤社君は翼贊青年分團長として戰後追放の苦境に在つたものが、昨年十二月解除された關係で同情が一身にあつまり、出馬を應授するものが雲の如く集まり、最高點で當選疑えないと傳えられて居る、四倉町出身だけに全くの濱兒で、小名濱氣象にピッタリと符合して居る、性活談で、人に接して親しみを持てる特長あり、事に當つて誠實、町議としては適材として歡迎さるであらう

×　×

櫻祭りの多彩な催し
假裝競技と店頭裝飾

櫻まつりの多彩な催しについては屢報の通りであるが四月十五日午前九時より市及商工會議所が主催となつて假裝宣傳競技會を行ふこととなつた、申込期日は四月十三日まで、集合は十五日午前ヵ時平驛前、入賞內譯左の通り

團体賞及び個人賞の入賞人員金額は左の通りである

團体賞
△一等　二千圓（一名）
△二等　一千圓（二名）
△三等　五百圓（三名）
△四等　三百圓（五名）

個人賞
△一等　千圓（一名）
△二等　五百圓（二名）
△三等　三百圓（三名）
△四等　二百圓（五名）

なお平商業研究會及平商工會議所共催による第四回店頭裝飾競技會內容左の通り

△審査日四月十三日午後一時
△一等商工會議所會頭賞大カップ＝持廻り
副賞二千圓
△二等千圓(二名)三等五百圓(三名)四等二百圓(五名)五等賞狀(五名)

小名汐留區民の義擧
水槽を築造町に移譲す

小名濱町汐留區長善方長作氏外各組長發起のもとに、字竹町一一八番地前面町道を利用し巾三間、長六間、深五尺の水槽を築造中であつたが、此程竣工八日午前十時より町に管理方を移譲したので其移譲式を現地に於て擧行した、來賓として水野町長、土木課長、水道課長、消防團長、等であつたが善方區長の工事報告あり、水野町長御代園長の祝辭があつたが、水野町長祝辭中には昨年本町にあつた大火、又最近中の作のパン工場の大火は其損害何れも五千萬圓以上に達して居る然るに小名濱町の徵收する町税は約四千萬圓であるからそれ以上の價値あるものが僅か半時間內外で烏有に歸して仕舞つた、そう云う大火の場合何れも消火用の水量即ち貯水や溜池の設備がない爲めに損害を大ならしめて居る事が多々ある、聞く處に依ると本水槽は約二千石を貯水し得る大タンクであつて現在の消防團備付けの消火器ポンプは三十分を優に放水するの水量があると云ふに至つては誠に町民各位に安心感を與うものである、依つて町では更に水道とのつながりをつけ三十分の放水時間を無限大に放水し得る設備に推進したいと考へて居る云々とのべ式は是れを以て終了スルメ、ミカンで祝杯を擧げ解散した、町當局は是の計畫に動かされ幾ケ所にか水槽築造するに至る模樣である

常磐炭勞教宣部主催
選擧に關する婦人懇談會

常礦炭礦勞組教宣部では十日から十六日まで婦人週間中縣教委石城出張所高木タマエ女史を招き今月行われる地方選擧に對する婦人の在り方並に「如何にすれば婦人の地位は向上すべきか」に關しての懇談會を催する日程は左の通りである

△內鄕方部十日から十三日まで四日間
△磐崎湯本方部十七日から十九日まで三日間

好間のトラック米屋に突き込む

七日午後四時半頃平市久保町地內で好間村北好間字權現堂トラック運轉手谷口德雄(三二)はハンドルをきりそこね米穀配給所小田部春吉さん方に突こみガラス戶を七枚、屋根などを大破した、損害約二萬三千圓

好間に赤痢

好間村大字小舘古河炭礦青雲寮坑內夫高橋增次(二五)さんは四日發病五日赤痢と決定隔離された

豊間の煙草泥

豊間町豊間鬼渡路二九一雜貨商矢吹重太郎(四七)さん方の店舖先で去る三月三十一日午後十時から四月一日午後二時頃までの間に同家の南側ガラス戶をこじあけ賊が侵入煙草其の他千七百圓相當盗まれた

小名濱便り

□第二小講堂建築を繞る保證問題

小名濱町立第二小講堂建築問題に關し請負入札にからんで面白からざる事件が突發した、それは町豫算は町會に於て三百三十五萬圓と判明して居る、そして經濟委員會では幾らの金額が止札として記入さるゝかが判明しない、それを目的に入札するのであるから、落札者が出て來る譯けである然るにこの町の豫算に對し土建請負業者は三百八十萬以下では入札しない事と云ふ申合せをして入札に應ずるが事を打合せたものであるが其相談に參加しない、一人か勇敢に成人かの同業者を向ふの廻し止札額と大体に釣り合ふ處で落札となつたは是れに對して土建業協會では損失のあるものには保證が出來ぬと云ふ主張の件にぐづつたのであるが請負落札者は、遂に他の保證の元に契約を進め建築に着手したと云ふ珍らしき事件である、案するに土建協會が三百八十萬圓以下に入札しないと云ふのは經濟委員會の言ふ談合だとする許りてなく誰が聞いても談合に違えがない、是れは町の土建事業に對し甚だしき、不明朗の結果を招來するもので是れは尤も愼まねばならない町の公共施設工事に對しては出來る限り廉價に見積つて損のない限りは、實行すると云ふのが、實際問題として考へねばならない、町の技術者の見積りから百萬圓もそれ以上違つた見積額で入札に應ずる事は飛んでもない事である、其奸策を蹶つて斷然自己の出來得る見積りで入札したる落札者の心境は業者をして襟を正さしむる立派な行爲であると言はねばならない、

江名町でガス爆發
工場從業員一名死亡す

石城郡江名町江名字江の浦磐城貨物自動車江名營業所修理工場で七日午後三時四十分頃作業中の同工場從業員大友和內君(一九)はアセチレンガス容器の使用操作を誤つて吹つとび顔面に負傷小名濱町馬目外科醫院に收容されたが同四時死亡した

櫻まつり 假裝宣傳競技會

參加はどなたでも自由ですから……奮つて御參加下さい
申込は四月十三日迄　商工會議所

日時四月十五日午前九時（十時より市內行進）
集合平驛前

⊠表彰團体賞
一等　二千圓　一名
二等　一千圓　二名
三等　五百圓　三名
四等　三百圓　五名

⊠個人賞
一等　千圓　一名
二等　五百圓　二名
三等　三百圓　三名
四等　二百圓　五名

⊠參會者の方には參加賞差上げます

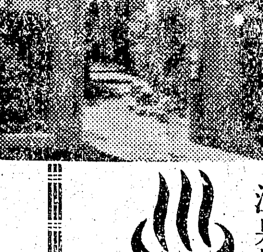
第四回店頭裝飾競技會

審査日　四月十三日　午後一時より
表彰　一等會頭賞（大カップ）持廻り
副賞　二千圓　一名
二等　一千圓　二名
三等　五百圓　三名
四等　二百圓　五名
五等賞狀　五名
主催　平商工會議所　平商業研究會

壽司始めました！
お花見の折など　殊に勉強いたします
御出前迅速御利用を!!
天ぷら　小料理　花長
平市新田町　電一五二

櫻まつり
裝飾提灯　他裝飾用品
多量に取揃へて有ます
御用命をお願ひ致します
正　白土正藏商店
平市古鍛冶町　電話六九三番

平の桃源境
翠の松に圍まれた靜かな部屋……
松ケ岡公園踏切先
溫泉旅館　古里
平市古鍛冶町　電話五七七番



松が岡の花も見頃！
お家族同伴、園体の席貸し、酒持込共に便利な「春木亭」へ
お料理、折詰も御相談に應じます
第一公園　電九三〇　春木亭